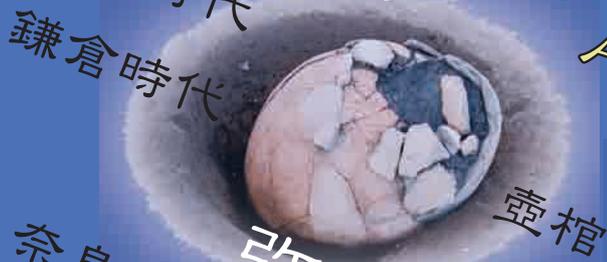


平成 21 年度 国道 195 号道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査

土島田遺跡

現地説明会資料

江戸時代
屋敷跡
安土桃山時代
室町時代



壺棺

弥生時代

2 千年前

奈良平安時代
古代官道
律令

Archaeology

考古学



発掘

遺跡
遺構
遺物



古墳時代
竈付き住居
弥生時代

壺棺群

弥生土器

縄文時代

旧石器時代



竪穴住居跡

現地説明会 平成 21 年 8 月 2 日 (日) 午後 1 時半から 3 時

記者発表 平成 21 年 7 月 31 日 (金) 午後 1 時半から

(財) 高知県文化財団埋蔵文化財センター

1. 調査の目的

今回の発掘調査は高知県が計画している国道 195 号道路改築工事計画区域内に所在している土島田遺跡について、事前の発掘調査を実施して遺跡の内容を記録し、地域の歴史復元に役立てようとするものです。

2. 調査対象地（調査面積）

南国市小籠・東崎・下末松（約 4,300㎡）

現地説明会場所 南国市東崎 85 ほか（南国市市営住宅祈年団地北側、伊尾木造園・ホースパーク近く）

3. 土島田遺跡の概要

土島田遺跡は長岡台地上に立地する縄文時代から近世にかけての複合遺跡で、南国市小籠・東崎・下末松に所在しています。周辺には弥生時代後期の集落跡である小籠遺跡や東崎遺跡があります。古墳時代には年越山に野中古墳群が築造されています。北方には国衙、土佐国分寺跡や比江廃寺跡など古代の中核地を控えています。

平成 19 年度及び 20 年度の発掘調査では、弥生時代後期の集落跡を広範囲に検出し、長岡台地の調査事例としては最大規模の内容となりました。また古代の官衙関連遺構と見られる掘立柱建物跡や道路状遺構、畝状遺構、近世の集落跡等を検出しました。

本年度は、土島田遺跡の集落の中心部を調査しており、弥生時代後期及び古墳時代の竪穴住居跡、掘立柱建物跡、壺棺墓等を検出しました。

4. 調査体制

調査委託者 高知県

調査実施機関 （財）高知県文化財団埋蔵文化財センター

5. 調査期間

平成 21 年 4 月 20 日～平成 22 年 3 月 20 日（予定）

6. 調査結果（平成 21 年度）

<Ⅷ AE 区>

検出遺構

弥生時代後期	竪穴住居跡、土坑、壺棺墓、柱穴
古墳時代	竪穴住居跡、性格不明小竪穴群、土坑、柱穴
古 代	掘立柱建物、土坑、柱穴
近 世	溝跡、柱穴

出土遺物

弥生土器、須恵器、土師器、土錘、ミニチュア土器、石器（石庖丁・叩石・紡錘車・砥石・石錘）、鉄製品など

7. 土島田遺跡の成果（平成 20・21 年度）

(1) 縄文時代

縄文時代中期の土器が 1 個体纏まってⅥ区で出土しました。長岡台地上では初めての事例です。

(2) 弥生時代

Ⅷ区を中心として、Ⅷ区より東側のⅨ、Ⅹ区、西側のⅦ区に展開しています。弥生時代集落は後期に含まれ、後期でも時期小区分は大きく分けて、弥生時代後期中葉、後期後半、終末から古墳時代初頭にかけての 3 区分です。この時期は香長平野部で最大であった高知空港の敷地内に所在する田村遺跡が終焉を迎え、長岡台地南側縁辺部をはじめ野市台地に分散する時期に相当します。本集落で検出した住居跡は 32 軒で、集落の開始時期は後期中葉です。住居跡の大部分が後期後半に含まれます。住居跡の規模は円形で径 8～10m を超えるものも存在します。該期では大型住居跡は件数は県下最多です。

住居跡以外に特に注目される遺構は壺棺です。21 基検出しており、内 18 基がⅧ区に集中します。集落の中央部に纏まります。壺棺は子供を埋葬したものと考えられます。壺棺の形態にはいろいろなバリエーションがあり、壺の口を割り別の土器で蓋をしたもの、壺にさらに一回り大きな土器をすっぽり覆い被せ、入り子にしたものなどがあります。壺は穴を掘り、壺を安定させるために穴の底に数個の石を置いたものなどもありました。Ⅹ区でも 2 基見つかっており、内 1 基は県下でも最大のものです。

弥生時代終末から古墳時代初頭にかけての住居跡は減る傾向にあります。高知県下でも大規模集落はなくなり、10 軒足らずの小規模集落となります。住居跡の規模は小さくなり、方形となります。

(3) 古墳時代

古墳時代後期の住居跡は 21 軒検出しています。今回の調査区全域にほぼ展開するものの、半数以上がⅧ区に纏まり、他の調査区では 1、2 軒と散在する程度です。時期的には 7 世紀前半から半ばに位置づけられます。Ⅶ区では極めて近接して 2 軒の住居跡を検出しているところから、若干の時期差が想定されます。古墳時代の住居跡の一番の特徴は造り付けの竈を有することです。また方形で、一辺 5、6m の中型の住居跡で占められます。ベッド状遺構を有するものが多いです。また竈は赤土で造られ、住居外に煙道を設けます。竈の位置はほとんどのものが北側部に設けられる例が多いです。

また古墳時代終末の小竪穴群を 10 基余り検出しています。性格機能は不明ですが、須恵器が出土しており、高知県下でもこうした類例は知られていません。

時期的な背景としては律令期前夜に相当します。後の奈良時代へと続く以前の様相がほとんど高知県では知られておらず、集落規模は弥生時代に比べて小さいものの、集落の存在自体が重要です。

(4)古代

古代では明確に掘立柱建物跡と並びの分かったものは約 30 棟です。柱穴の形状が円形、方形のものがそれぞれ認められます。

昨年度の調査ではV区で道路状遺構を検出しました。古代香長条里に則した南国市篠原の住吉通りから、国分寺の東側に直線的に通じることから、土佐国の国衙に通じる主要道路の可能性が極めて強いです。今まで高知県では古代官道の調査例はなく、初めての検出例です。

北側の比江地域には古代役所跡国衙、国分寺、比江廃寺が控えており、それに通じる道路状遺構及び掘立柱建物跡群からも、11～12世紀の官衙関連に認められる遺物群が出土していることから律令期の一翼を何らかの形で担っていたと考えられます。かつて長岡台地の律令期は香長条里から外れた、不毛の土地と考えられていたものの、香長条里に沿った畝状溝群をはじめとする遺構群から、律令期にも明確に長岡台地にも土地制度が及んでいたことが判明しました。

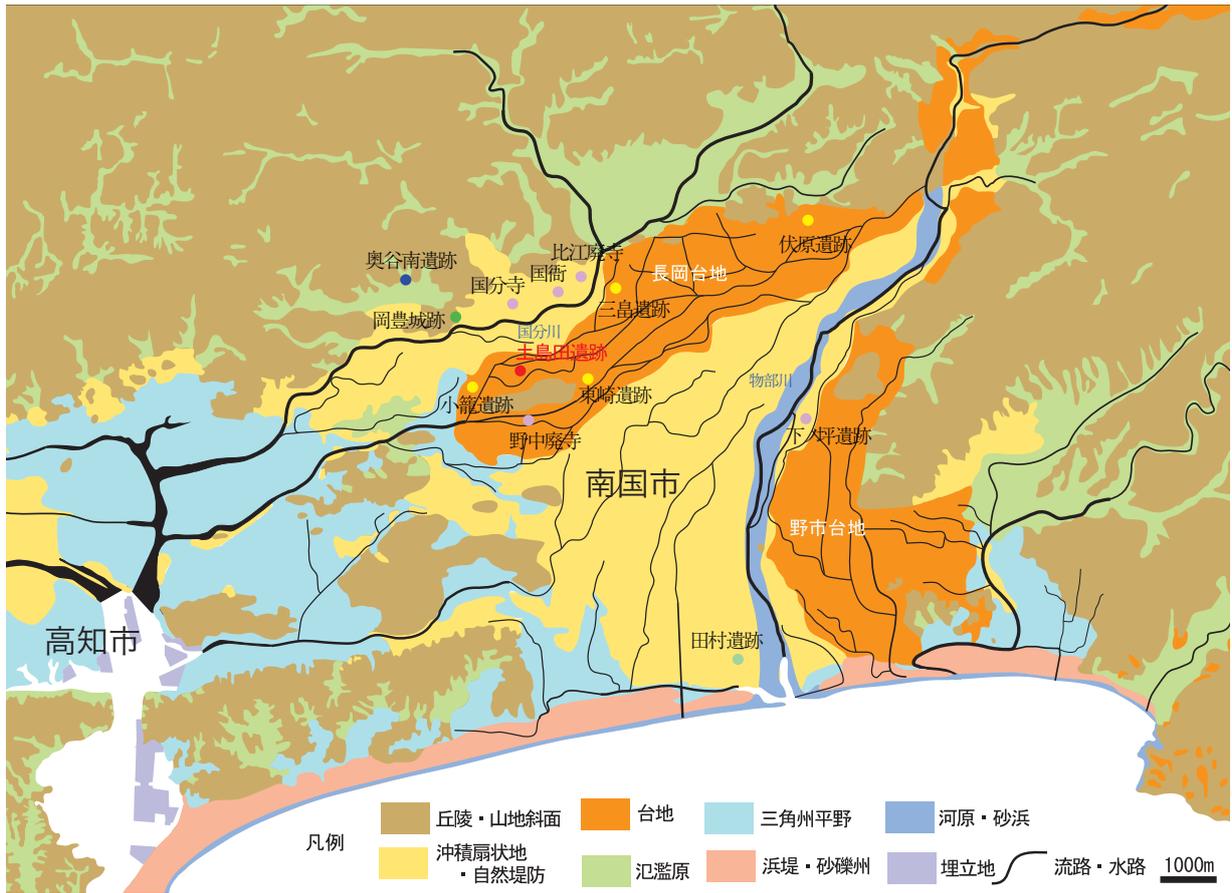


(5)近世

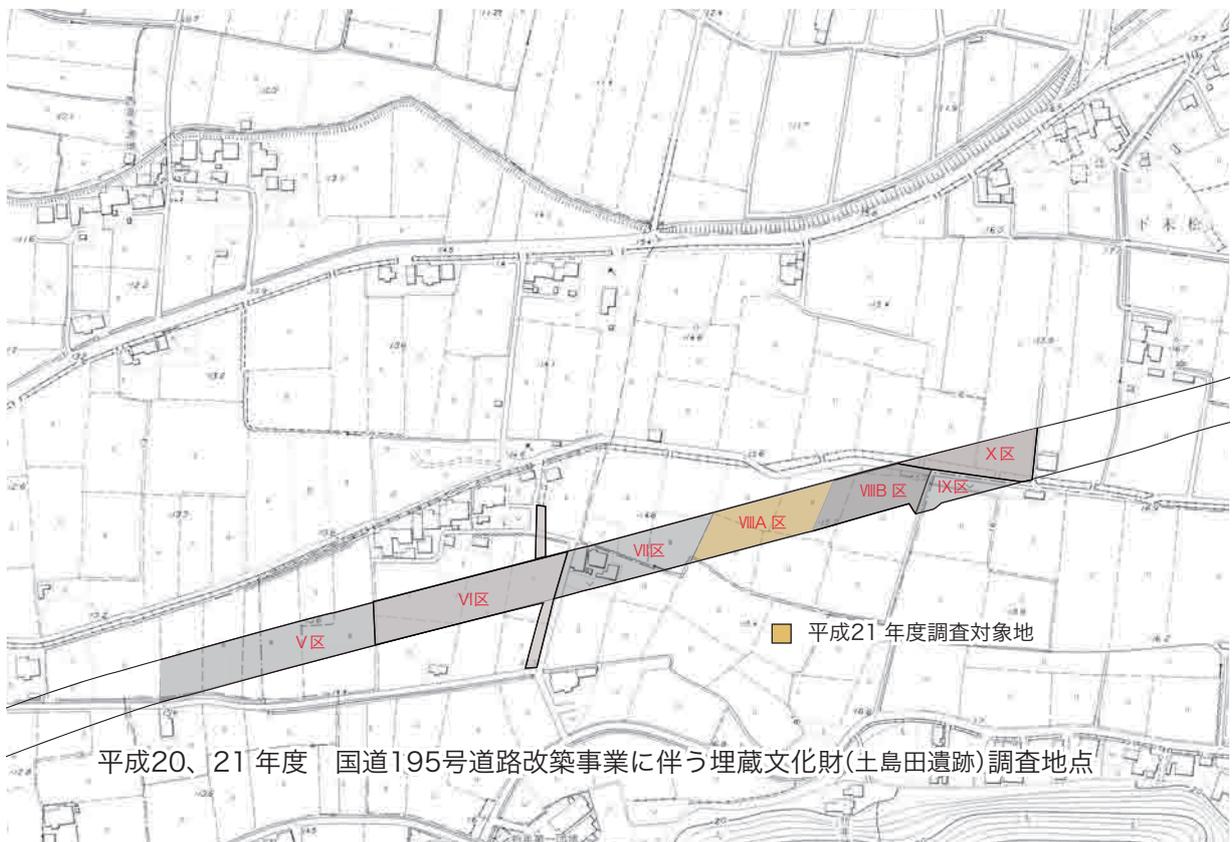
長岡台地は既に律令期には土地区画制度が及んでいたことが判明しています。しかしその後、長宗我部地検帳の段階ではあまり土地利用がなされた形跡はなく、近世になり山田堰の開鑿に伴い長岡台地上に再び開拓の手が入ります。その開拓の担い手となったのは郷土層と考えられます。今回の調査でも近世の屋敷跡と考えられる遺構群を検出しました。屋敷跡は区画溝で囲まれていました。

調査区別遺構一覧及び遺物総点数

	弥生 住居	弥生 壺棺	弥生 土坑	古墳 住居	古墳 土坑	古代掘 立柱	古代 溝	近世 住居	ハンダ 土坑	近世 溝	時期不 明柱穴	時期不 明土坑	遺物総 点数
V区				3		4	5				20	8	320
VI区				2		6	16				20	17	716
VII区	6	1	7	5	1	6	30	1	6	1	300	9	6853
VIII区	21	18	46	7		8	60	2	6	6	1000	40	45072
IX区	3		15	1	1	3	16			1	130		9563
X区	2	2	5			3	40		2		70		5450
合計	32	21	73	19	2	30	167	3	14	8	1540	74	67974



土島田遺跡及び周辺の遺跡



土島田遺跡調査区配置図



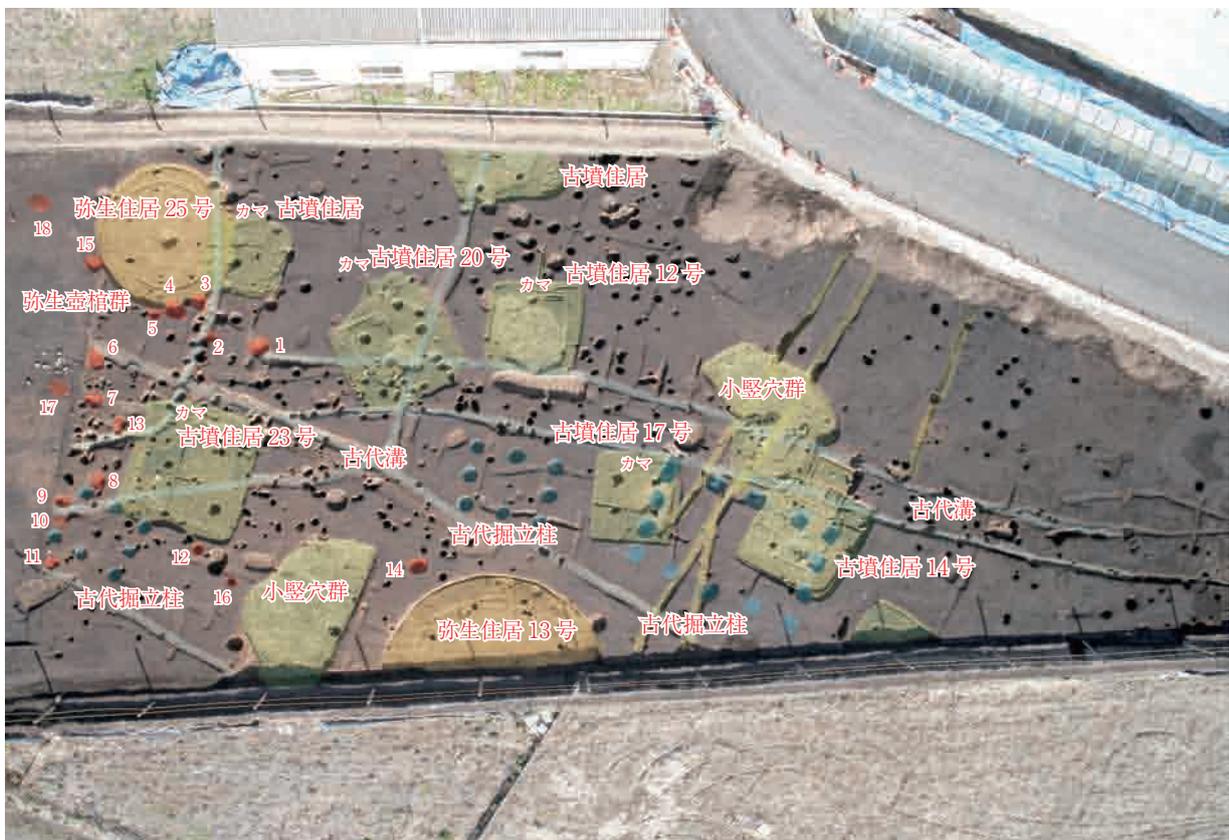
土島田遺跡空撮（南より）



土島田遺跡 VIII A 区（南より）



土島田遺跡調査区（東より）



土島田遺跡 VII B区（南より）

Ⅷ A 区の調査



Ⅷ A 区 東側部遺構検出写真



Ⅷ A 区 東側部遺構完掘写真



弥生時代後期 ST30 焼失住居



弥生時代後期 ST30 遺物出土状況



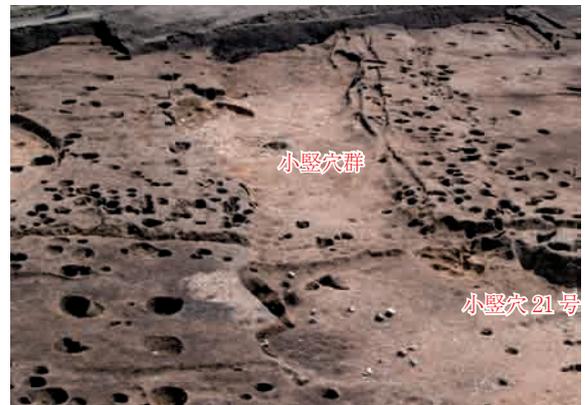
弥生時代後期 ST30 完掘



古墳時代初頭 ST36



古墳時代後期 ST26



古墳時代終末 小竪穴群



古墳時代終末 小竪穴 SX21



古代 掘立柱建物跡

ⅧB区の調査



ⅧB区 弥生時代後期後半 壺棺群



4号壺棺



5号壺棺



9号壺棺



12号壺棺



弥生時代後期後半 住居跡復元



弥生時代後期後半 復元に使った住居

発掘調査参加者（2009年度）

池 宣宏 岩本みかを 大石嘉久 木下敏彦 清藤 正
 久家 瑞 黒岩幸子 高野良夫 武内順一 武内昌子
 徳久道子 中沢二男 中谷沙織 橋本佐与子
 浜田友喜 前田早苗 宮地啓介 宮添 彬 横田輝子
 吉本美代子 近藤孝文 前田光雄

士島田遺跡現地説明会資料

平成 21 年度国道 195 号道路改築に伴う埋蔵文化財発掘調査

編集・発行 (財) 高知県文化財埋蔵文化財センター
 高知県南国市篠原 1437-1

TEL 088-864-0671

発行日 2009 年 8 月 2 日

印刷 共和印刷株式会社

Printed in Japan

Copyright ©2009 Kochi Archaeological Reserach Center
<http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/maibun/>

士島田遺跡及び周辺の遺跡

近世 (江戸) 約 150～400 年前

士島田遺跡：掘立柱建物跡、ハンダ土坑、住居、井戸

野中兼山による用水路の開鑿（山田堰、上井川、中井川、舟入川）により長岡台地上に水田耕作が可能となる。

中世 (鎌倉、室町、南北朝、戦国) 約 450年～800年前

士島田遺跡：青磁等出土

岡豊城、広井城、願勝寺

古代 (奈良、平安) 約 800年～1,300年前

士島田遺跡：掘立柱建物跡、官道（道路状遺構、県下初）

土佐国衙跡、土佐国分寺跡、比江廃寺跡、野中廃寺、祈年神社

古墳時代 約 1,300年～1,700年前

士島田遺跡：竪穴住居 21 軒（カマド付多数 県下最多）

小竪穴群（古墳時代終末、県下最多）

下ノ坪遺跡：竪穴住居（カマド付有り）、年越山（としこえやま）古墳、坂折山（さかおりやま）古墳

弥生時代 約 1,700～2,400 年前

<後期>

士島田遺跡：竪穴住居 32 軒（県下最多）、壺棺 21 基（県下最多）

小籠遺跡、東崎遺跡：壺棺、三畠遺跡：竪穴住居

<中期>

田村遺跡：竪穴住居、弥生土器のほか勾玉・管玉・ガラス小玉など出土

<前期>

田村遺跡：竪穴住居、掘立柱建物跡、水田跡、小籠遺跡：溝跡

縄文時代 約 2,400年～13,000年前

士島田遺跡：縄文中期の土器一個体（長岡台地上では初出土）

奥谷南遺跡、田村遺跡：九州系土器多量（後期）